平成２５年度・自主研究会等の活動報告書

|  |  |
| --- | --- |
| 研究会等の名称 | 経営改善・事業再生研究会 |
| 代表者 | 菊池武司 |
| 参加者 | 計12名　清成真一、藤田義範、長野研一、池田至郎、阿部芳久、岡田磨左英、中川智仁、岩崎美紀、鍵野正則、村上洋一、三室忠之 |
| 研究会等活動の目的 | 中小企業診断士としての再生支援のあり方を研究し、スキルアップを図る。 |
| 活動の記録 | 1. 平成２５年　７月２２日　１９：００～２１：００
2. 平成２５年　９月１９日　１９：００～２１：００
3. 平成２５年１１月　２日　１６：００～１８：００
4. 平成２６年　１月１６日　１９：００～２１：００
5. 平成２６年　２月１５日　１６：００～１８：００
 |
| 研究会（調査研究事業）の成果 | ・3回に渡り、７名の再生支援経験者の事例報告を行い、事業再生に取り組むスタンス、提供してもらう資料、業務フロー、必要な知識、使用するツールやフォーマット等の共有ができた。・大分県中小企業再生支援協議会のマネージャーとサブマネージャーに参加を頂き、参加メンバーとの意見交換ができた。・最終回は、宮崎県中小企業診断士協会からオブザーバー参加があり、情報交換を行った。宮崎県では、保証協会がイニシアティブを取り、事業再生に取り組んでいることから、支援体制も県によって様々であることや、経営改善センター事業の件数が大分県よりも相当数多いことなどが分かった。 |
| 研究会（調査研究事業）の課題 | ・当初は、支援スキームの標準化を目的としたが、今年度は断念した。・協会が受託した場合の診断士の選定基準を設ける必要がある。・成果物の品資基準やリーガル面でも整備が必要である。・事業再生に対応できる診断士を増やすには、経験者と未経験者とのペアを組んで対応するような形が必要である。 |
| 中小企業経営者へのメセージ | 再生というとマイナスのイメージがあるため、メッセージもしづらいのですが、再生という事態に陥らないために、堅実な経営をしていくことと、再生云々は抜きにして、将来のビジョンを明確にし、中期的な事業計画書を策定して経営目標を達成させましょう。 |